

# 第17期 MOT (技術マネジメント) 研究会

## 開催のご案内

### テーマ：事業化・収益化に向けた研究開発の戦略

主催  一般社団法人 日本経営協会

#### 開催にあたって

昨今の経済社会の変化は激しく、多くの企業でサステナビリティへの貢献やDXの推進が重要な課題になっております。また、その課題に対応していかにより自社独自の技術ソリューションを生み出すかで競争上の優劣が生まれる状況があらゆる産業分野で広がっております。また、新たな技術を生み出すだけでなく、その技術を社会実装することやビジネスモデルに組み込んでいくこと、すなわち事業化・収益化に向けた戦略につなげるプロセスが重要視されるようになりました。

しかし、この取り組みをすすめることは当然のことながら、容易なことではありません。例えば、組織体制やプロジェクトの推進方法を柔軟に見直すこと、知的財産を戦略的に活用すること、オープンイノベーションの取り組みを導入することなど、様々な側面で新たなチャレンジが求められます。

この研究会では、実際の企業事例における経験や工夫、最新の理論から得られる示唆に触れながら、幅広い論点からMOT (技術マネジメント) に関する着眼点を学んでいただきます。この機会に関係各位の積極的なご参加（ご派遣）をおすすめ申し上げます。

- ▶ 会 期：2025年7月18日（金）～11月12日（水） ※全5回
- ▶ 会 場：大阪科学技術センタービル会議室 ※視察以外  
（大阪市西区靱本町1-8-4）
- ▶ 講 師：（第1回～第5回のコーディネーター）  
神戸大学大学院経営学研究科 教授 原田 勉 氏  
（第5回の特別講義）  
神戸大学大学院経営学研究科 准教授 吉田 満梨 氏
- ▶ 実践事例：SPACECOOL(株)、TDK(株)、DIC(株)
- ▶ 企業視察：(株)島津製作所（京都市中京区）
- ▶ 対 象：主に研究・開発部門、技術部門および企画部門の  
管理者・リーダーの方々（定員 30 名）

#### 研究会のすすめ方・特長

1. 多彩なゲストスピーカーの講話や視察を通し、技術マネジメントのあり方と実践について多面的に学びます。
2. 各回とも指導講師のコーディネートのもと、質疑応答や討議・意見交流を深めます。
3. 懇親交流会を通し、参加者同士の親睦をはかります。
4. 全会合終了後に資料集（講義録含む）を進呈します。

（視察先：(株)島津製作所）



## 指導講師

神戸大学大学院経営学研究科 教授  
Ph.D. (スタンフォード大学) 博士

原 田 勉 氏



〔略歴〕 1989年一橋大学商学部卒業  
1991年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了  
1997年スタンフォード大学よりPh.D. (経済学博士)取得  
1997年神戸大学経営学部助教授  
1998年科学技術政策研究所客員研究官(～99年)  
2003年INSEAD 客員研究員(～04年)  
2004年ハーバード大学フルブライト研究員(～05年)  
2005年神戸大学大学院経営学研究科教授  
〔専攻〕 経営戦略・組織・技術マネジメント、産業組織・経済成長論  
〔著書〕 『戦略書としての老子』東洋経済新報社 2025年  
『「価値」こそがすべて！』(訳) 東洋経済新報社 2023年  
『POSITIVE DEVIANCE(ポジティブデビアンズ)』(訳) 東洋経済新報社 2021年  
『OODA MANAGEMENT(ウーダマネジメント)』東洋経済新報社 2020年  
Economics of an Innovation System, Routledge, 2019年  
『OODA LOOP(ウーダループ)』(訳) 東洋経済新報社 2019年  
『イノベーションを巻き起こす「ダイナミック組織」戦略』日本実業出版社 2016年  
『イノベーション戦略の論理』中央公論新社 2014年  
『実践力を鍛える 戦略ノート[戦略立案編]』東洋経済新報社 2010年  
『汎用・専用技術の経済分析』白桃書房 2007年  
『ケース演習でわかる 技術マネジメント』日本経済新聞出版社 2007年  
『実践力を鍛える 戦略ノート[企業価値評価編]』東洋経済新報社 2007年  
『実践力を鍛える 戦略ノート[マーケティング編]』東洋経済新報社 2006年  
『MBA 戦略立案トレーニング』東洋経済新報社 2003年 他

### ＜指導講師からのメッセージ＞

MOT(技術マネジメント・技術経営)について講演や研修を依頼される場合、よくあるリクエストは、他社での具体的な事例を数多く盛り込んで欲しいというものです。教科書のなかの話ではなく、現実にはどのような技術マネジメント、技術経営が実践されているのかは、多くの企業の方々にとって強い関心事であると同時に、その情報はきわめて限定されているのが実状です。というのも、このようなMOTに関する事項はトップシークレットとしてあつかわれることが多いからです。

このMOT研究会では、このような要望をもつ企業の方々に対して、日本を代表する優良企業で技術マネジメントを実践されている現場の方々に講師としてお迎えし、自社の事例について詳しくお話していただきます。そして、そこで問題提起された事項について2時間ほどの時間をかけて徹底的に討議していきます。毎回、受講生全員に質問してもらう機会を設け、きれい事ではなく本音でやり取りをすることで大きな学びにつながっています。

MOTに関心をもっているけれども、まずは先端的な企業ではどのようにそれが実践されているのか知りたい、自社でMOTを導入しているけれども、どのようにすれば成果が上がるのかヒントを得たい、といった要望をお持ちの方々には是非ともご参加いただき、共に研究していきたいと思います。

## 企画委員会

※今期カリキュラムの企画検討及び助言を実施

(委員長) 原田 勉 氏 神戸大学大学院 経営学研究科 教授

(委員) 請川 信 氏 パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

組織・人材開発センター 研修推進総括

川本 将則 氏 大阪ガス株式会社 理事 先端技術研究所長

菊野 智教 氏 ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター  
テクノロジー・イノベーション戦略室 担当課長

木下 孝司 氏 株式会社ノーリツ プロダクツ統括本部 研究開発本部 技術戦略推進室 室長

栗木 隆 氏 江崎グリコ株式会社 取締役

佐藤 夏樹 氏 ミズノ株式会社 グローバル研究開発部 部長

鳥越 泰光 氏 シスメックス株式会社 経営企画室 部長

藤田 優 氏 カナデビア株式会社 開発本部 業務部長

堀口 昌邦 氏 住友ファーマ株式会社 R&D 本部 R&D 戦略企画部 部長

(50 音順)

| 日時・会場                                                                                                         | テーマと内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | タイムテーブル(予定)                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第 1 回</b><br>7月18日(金)<br>13:30～18:30<br><b>会場</b><br>大阪科学技術<br>センタービル                                      | <b>「放射冷却素材の開発とその社会実装<br/>           ～大企業発カーブアウト型スタートアップという挑戦」</b><br>ゲスト：SPACECOOL株式会社<br>代表取締役CEO兼CTO、共同創業者 <b>末光 真大 氏</b><br><div>             SPACECOOLは、直射日光を受けても宇宙に熱を捨てゼロエネルギーで冷える素材「放射冷却素材」を研究開発・製造販売するスタートアップ企業です。大阪ガスからのカーブアウトという形で2021年に創業した当社は、カーボンニュートラル社会実現への挑戦を掲げて事業展開をすすめ、関西万博ではガスバビリオンの膜材に採用されるなど、各方面で注目を集めております。今回は、研究開発から社会実装に至るプロセスのなかでどのような課題や挑戦に取り組んできたかについて、実際の苦労話も含めてご講話いただきます。           </div> | 13:30 開会<br>13:35 末光氏ご講話<br>15:05 小休憩<br>15:20 グループ討議<br>15:50 質疑応答とまとめ<br>※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流<br>17:00 終了 |
|                                                                                                               | <b>&lt;懇親交流会&gt; 同ビル内で実施予定</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 17:00～18:30                                                                                                    |
| <b>第 2 回</b><br>8月27日(水)<br>13:30～17:00<br><b>会場</b><br>(株)島津製作所<br>ヘルスケア<br>R&Dセンター<br>(KYOLABS)<br>(京都市中京区) | <b>「市場創造を目指す知財のオープン&amp;クローズ戦略」</b><br>ゲスト：株式会社 島津製作所<br>知的財産部 部長 <b>阿久津 好二 氏</b><br><div>             近年、標準化と知的財産を一体的に活用する戦略(オープン&amp;クローズ戦略)が注目されています。島津製作所では、この戦略を研究の上流から始めて市場創造と研究開発を同時並行で進めるプロジェクトを長期的な取り組みとして推進しており、今回の講話ではその取り組みの実際についてご紹介いただきます。<br/>             また、当日は同社を訪問して視察させていただきますが、多様なアプリケーション分野の製品群を紹介する「サイエンスプラザ」、医用機器のショールームである「メディカルセンター」を見学します。           </div>                                 | <b>&lt;見学会+講話&gt;</b><br>13:30 開会<br>13:35 見学会<br>14:45 小休憩<br>15:55 阿久津氏ご講話<br>16:25 質疑応答とまとめ<br>17:00 終了     |
| <b>第 3 回</b><br>9月19日(金)<br>13:30～17:00<br><b>会場</b><br>大阪科学技術<br>センタービル                                      | <b>「本社 R&amp;D における TDK Transformation に向けた取り組み」</b><br>ゲスト：TDK株式会社<br>技術・知財本部応用製品開発センター 部長 <b>橋本 勉 氏</b><br><div>             TDK Transformationは、電子部品メーカーであるTDKの長期ビジョン。社会の変革に貢献し、自社の変革を続けることで、サステナブルな未来の実現を目指しています。そのなかで本社R&amp;Dのミッションは、新しいデバイスの導入とともに、ソフトウェアを開発して付加価値を高め、社会実装していくことです。<br/>             今回は同社の技術マネジメントの全体像と具体的な事例について、デバイスの実際の応用例もまじえてご紹介いただきます。           </div>                                  | 13:30 開会<br>13:35 橋本氏ご講話<br>15:05 小休憩<br>15:20 グループ討議<br>15:50 質疑応答とまとめ<br>※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流<br>17:00 終了 |
| <b>第 4 回</b><br>10月24日(金)<br>13:30～17:00<br><b>会場</b><br>大阪科学技術<br>センタービル                                     | <b>「DICにおける事業化を阻む<br/>           “死の谷”“ダーウィンの海”の乗り越え方」</b><br>ゲスト：DIC株式会社 常務執行役員<br>技術・R & D担当 技術統括本部長 <b>有賀 利郎 氏</b><br><div>             D I Cは、ユニークな化学会社として「Color &amp; Comfort」のスローガンのもと、サステナブルな社会への貢献を目指し、基盤技術と各種要素技術を駆使した高付加価値製品の開発に取り組んでいます。今回は研究開発を事業化してプロフィットを生み出していくプロセスについて、同社における成功事例・失敗事例をまじえてご紹介いただきます。また、製品化・事業化・市場化を阻む壁をいかに乗り越えていくかに関して、同社の研究開発マネジメントおよび人材育成の取り組みについてもお話しいたします。           </div>       | 13:30 開会<br>13:35 有賀氏ご講話<br>15:05 小休憩<br>15:20 グループ討議<br>15:50 質疑応答とまとめ<br>※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流<br>17:00 終了 |
| <b>第 5 回</b><br>11月12日(水)<br>13:30～18:30<br><b>会場</b><br>大阪科学技術<br>センタービル                                     | <b>特別講義 「新規事業開発におけるエフェクチュエーションの活用」</b><br>講 師：神戸大学大学院<br>経営学研究科 准教授 <b>吉田 満梨 氏</b><br><div>             エフェクチュエーションは、多くの優れた起業家に共通する思考パターンを抽出して体系化した思考形式。不確実な状況下で新市場の創造を行うために活用することができます。今回は大企業の事例紹介をまじえ、その活用上のポイントについて考察いただきます。<br/> <b>《略歴》</b> 神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了(博士・商学)。立命館大学経営学部准教授などを経て2021年より現職。専門はマーケティング論で、特に新しい製品市場の形成プロセスに関心を持つ。著書に「エフェクチュエーション:優れた起業家実践する「5つの原則」」(共著、ダイヤモンド社)など。           </div>          | 13:30 開会<br>13:35 吉田氏ご講話<br>15:05 小休憩<br>15:20 グループ討議<br>15:50 質疑応答とまとめ<br>※ゲスト、指導講師、参加者の間で討議と意見交流<br>17:00 終了 |
|                                                                                                               | <b>&lt;懇親交流会&gt; 同ビル内で実施予定</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 17:00～18:30                                                                                                    |

※ 諸事情により、上記の日程・講師・内容等に変更が生じる場合があります。  
 ※ 各回のタイムテーブルについては、目安の時間として記載しております。

## ◆実施要領・申込要領

- ◇会 期：2025年7月18日(金)～11月12日(水)  
◇会 場：大阪科学技術センタービル会議室（大阪市西区靱本町1-8-4）他  
◇主 催：一般社団法人 日本経営協会  
◇受講登録：1社につき2名様までのお申込が可能です。※登録者以外の方の代理出席も可能です。  
◇定 員：30名  
◇参加料：(1社あたり 税込み)

| 参加料  | 1名登録の場合  | 2名登録の場合  |
|------|----------|----------|
| 本会会員 | 99,000円  | 165,000円 |
| 一 般  | 143,000円 | 209,000円 |

- ◇申込方法：弊会ウェブページ上でのWEB申込、もしくは下記参加申込書にてお申込みください。  
◇申込締切日：2025年7月11日(金)  
◇お支払方法：お申込到着後、本会から請求書を送付いたしますので、開講日までに請求書に記載の指定口座にお振り込みください。振込み手数料は貴社にてご負担ください。  
◇その他：お振込みいただいた参加料は原則として返金いたしかねますので、ご都合が悪くなられた場合は代わりの方のご登録をお願いいたします。  
事故・自然災害発生等の状況により、Zoomを使用して例会を開催する場合や、中止・延期・日程変更となる場合があります。何卒ご了承下さい。

## ◆お申込・お問合せ先

### 一般社団法人 日本経営協会 関西本部「MOT研究会」事務局（担当：浅川）

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階

TEL：06-6443-6962 FAX：06-6441-4319 E-Mail：ksosaka@noma.or.jp

031A-2025(4.5)

## WEB申込の流れ

一般社団法人日本経営協会ホームページ <https://www.noma.or.jp>にてお手続きください。

1. ホームページにて「セミナー / 講座」を選択
2. 【NOMA 公開セミナー / 行政管理講座検索画面】をクリック
3. フリーワード欄に講座名の一部を入力して検索
4. 講座のページを開いて、そのページ内でWEB申込
5. 申込が完了後に確認メールを受信

## FAX/メール申込の流れ

下記申込書にご記入のうえ、事務局宛FAXまたはメールでご送信ください。

### NOMA「第17期 MOT研究会」参加申込書

☐ (一社) 日本経営協会会員 ☐ 一般

(1) 会社（団体）名：\_\_\_\_\_

(2) 住 所：〒\_\_\_\_\_

TEL ( ) \_\_\_\_\_

(3) 連絡担当者氏名：\_\_\_\_\_ 所属役職名 \_\_\_\_\_  
(請求書送付)

FAX ( ) \_\_\_\_\_

## ◆登録者

| 氏 名<br>(フリガナ) | 所属・役職名 | 勤務先住所 | 連絡先 (TEL・E-mail) |
|---------------|--------|-------|------------------|
| フリガナ          |        | 〒     |                  |
| フリガナ          |        | 〒     |                  |

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内  
なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要

本コースは、運営において参加者各位の氏名、勤務先名、所属、役職名を記載した参加者名簿を本講座の参加者全員に配布することが必要ですので、このことを同意のうえお申し込みください。